

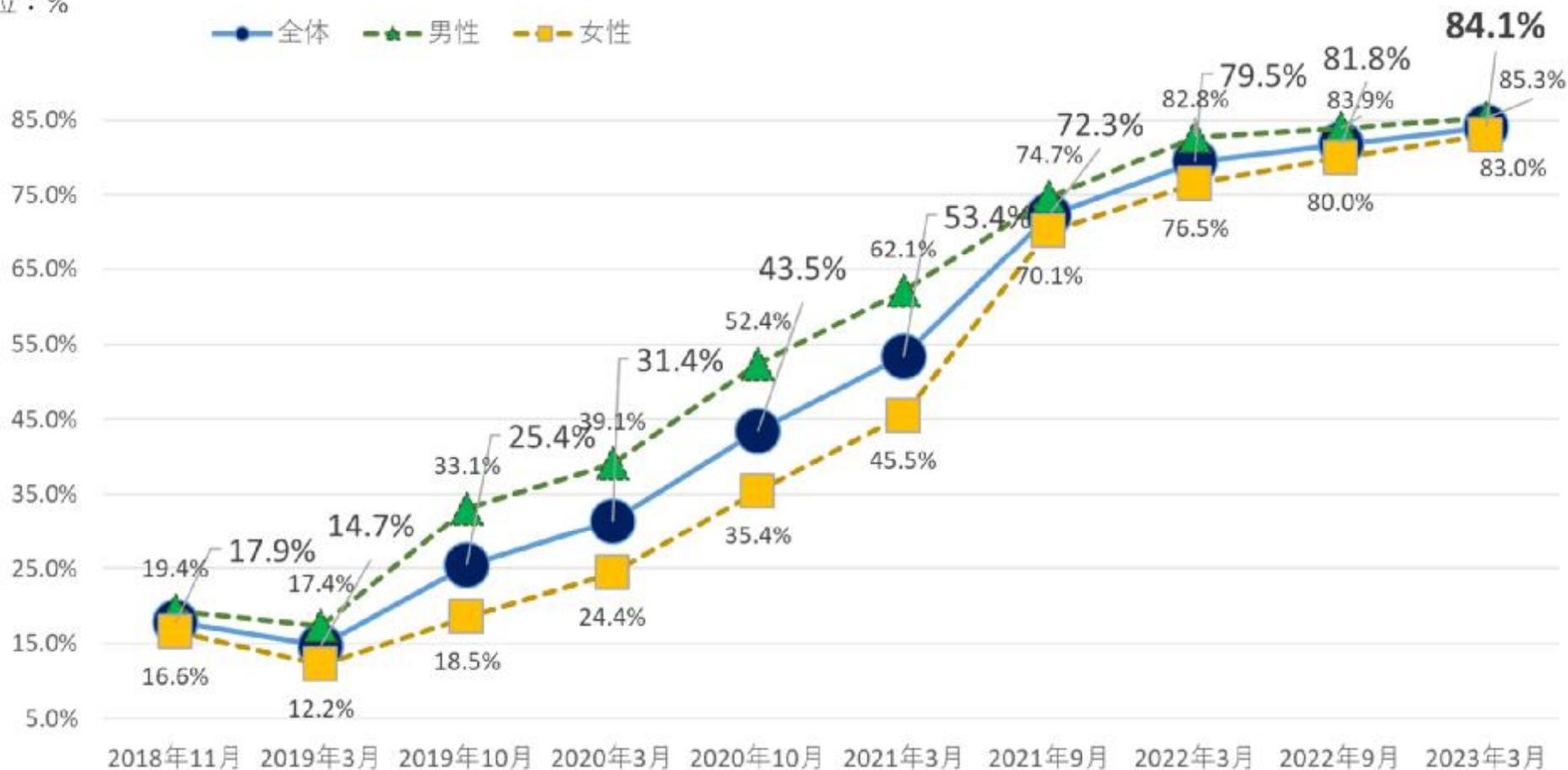
SDGs認知度調査（Qネット）

2023年3月調査

大阪府のネット調査（大阪Qネット）を活用して、府民を対象にSDGsの認知度を調査
（対象者条件：18歳以上の男女、サンプル数：1,000名）

府民全体の認知度は、**84.1%**（2023年3月時点）。

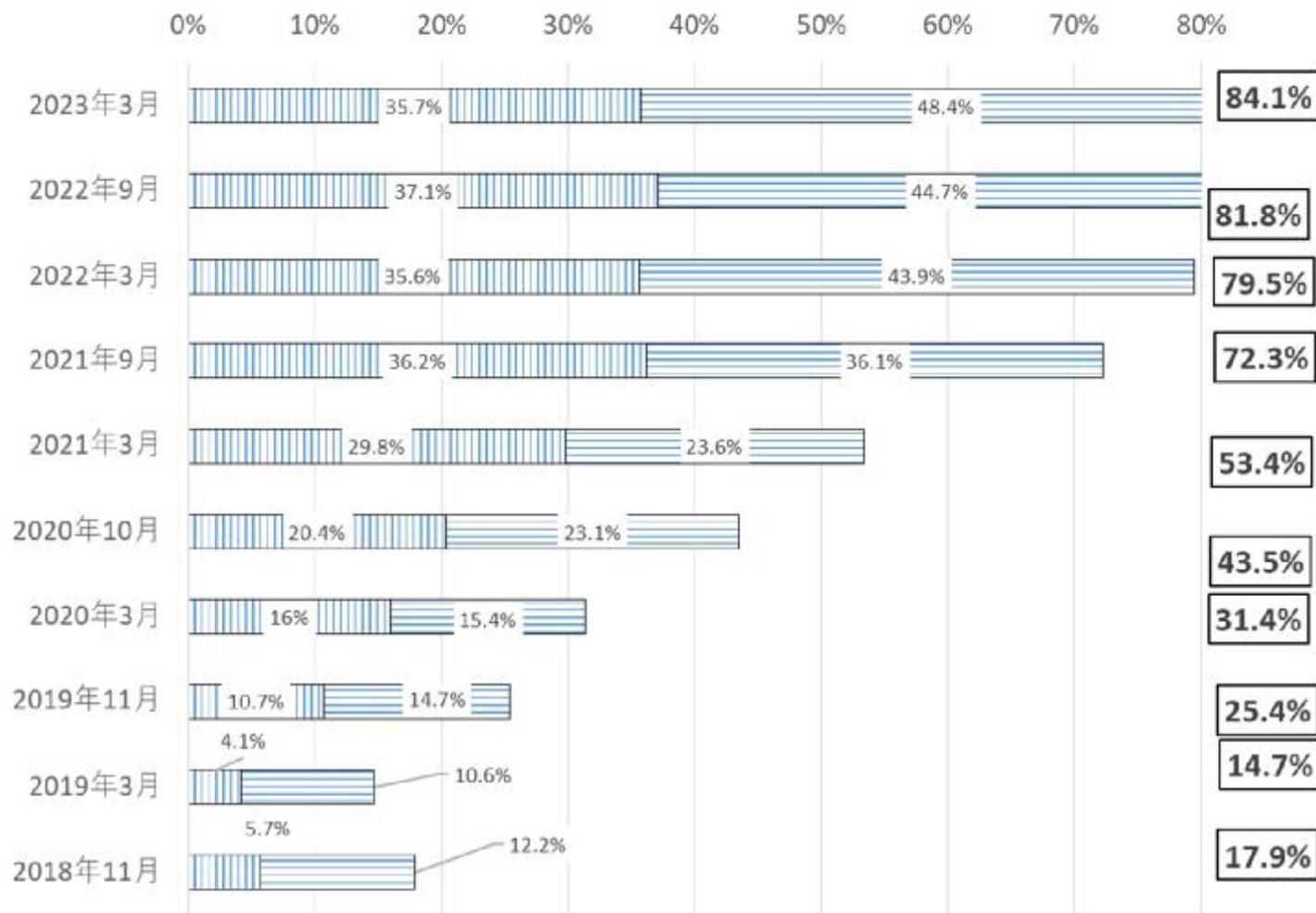
単位：%



※「SDGsを知っている」と「SDGsという言葉聞いたことがある、または、ロゴを見たことがある」の合計をSDGsの認知度としている。

○SDGsの認知度の内訳をみると、「SDGsという言葉聞いたことがある、または、ロゴを見たことがある」の割合が高い。

■SDGs認知度（全体）

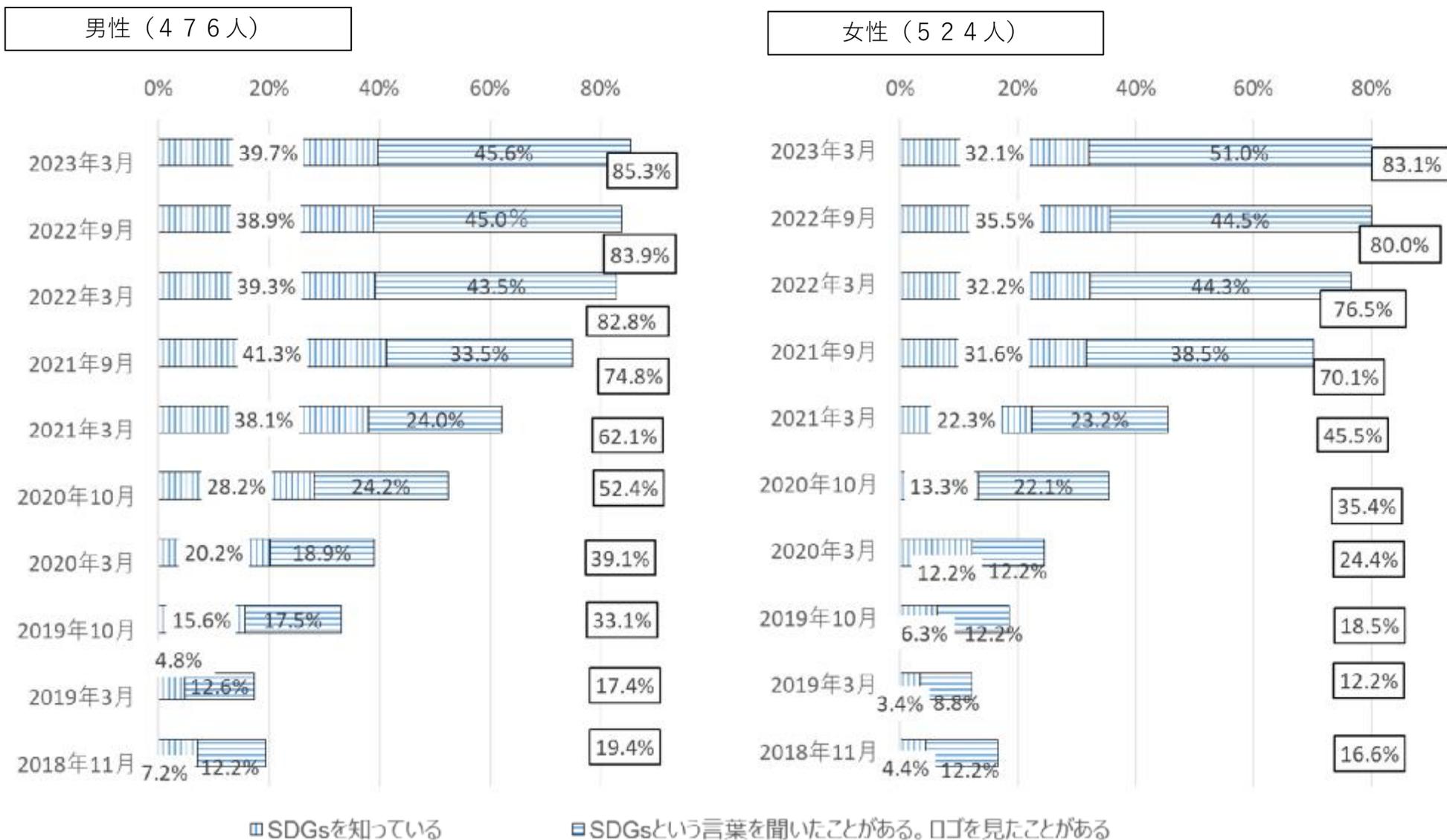


■SDGsを知っている

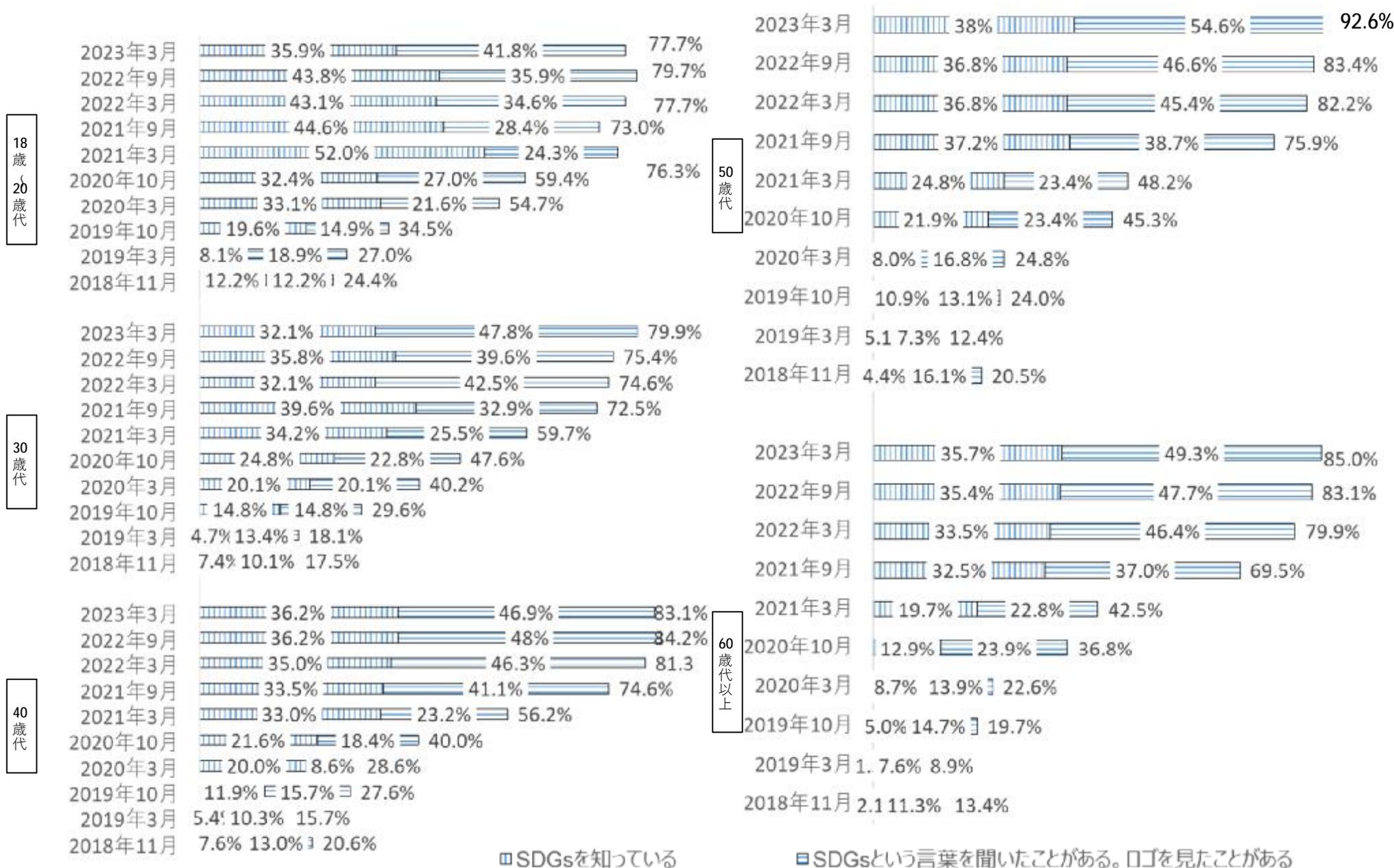
▨SDGsという言葉聞いたことがある、または、ロゴを見たことがある

○男女別では、男性の認知度が高い傾向にあるが、男女別認知度の差は縮小している。

（男女別認知度の差　今回調査：**2.2**ポイント　前回調査：**3.9**ポイント）



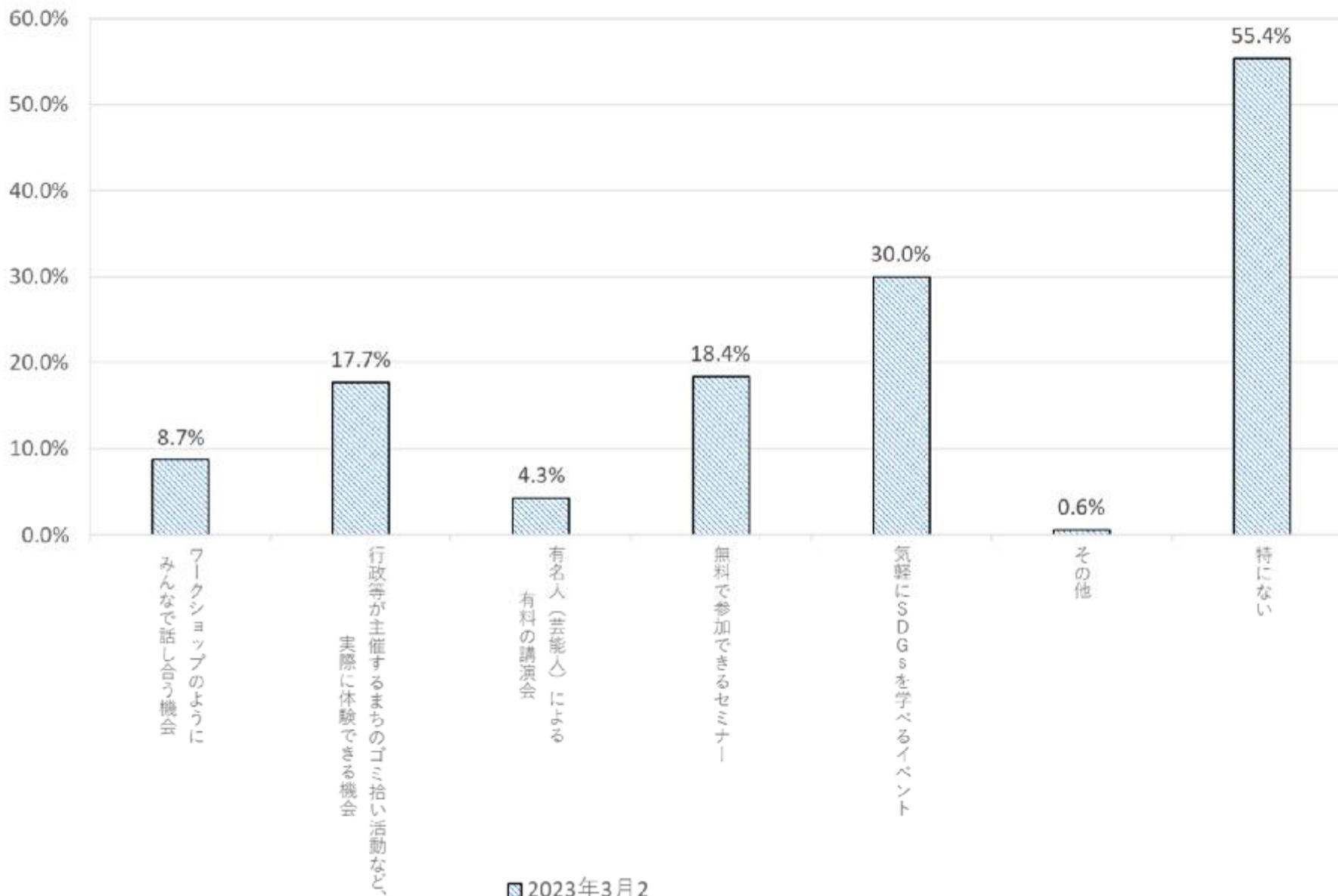
○40歳代～60歳代の認知度は80%を上回っている。



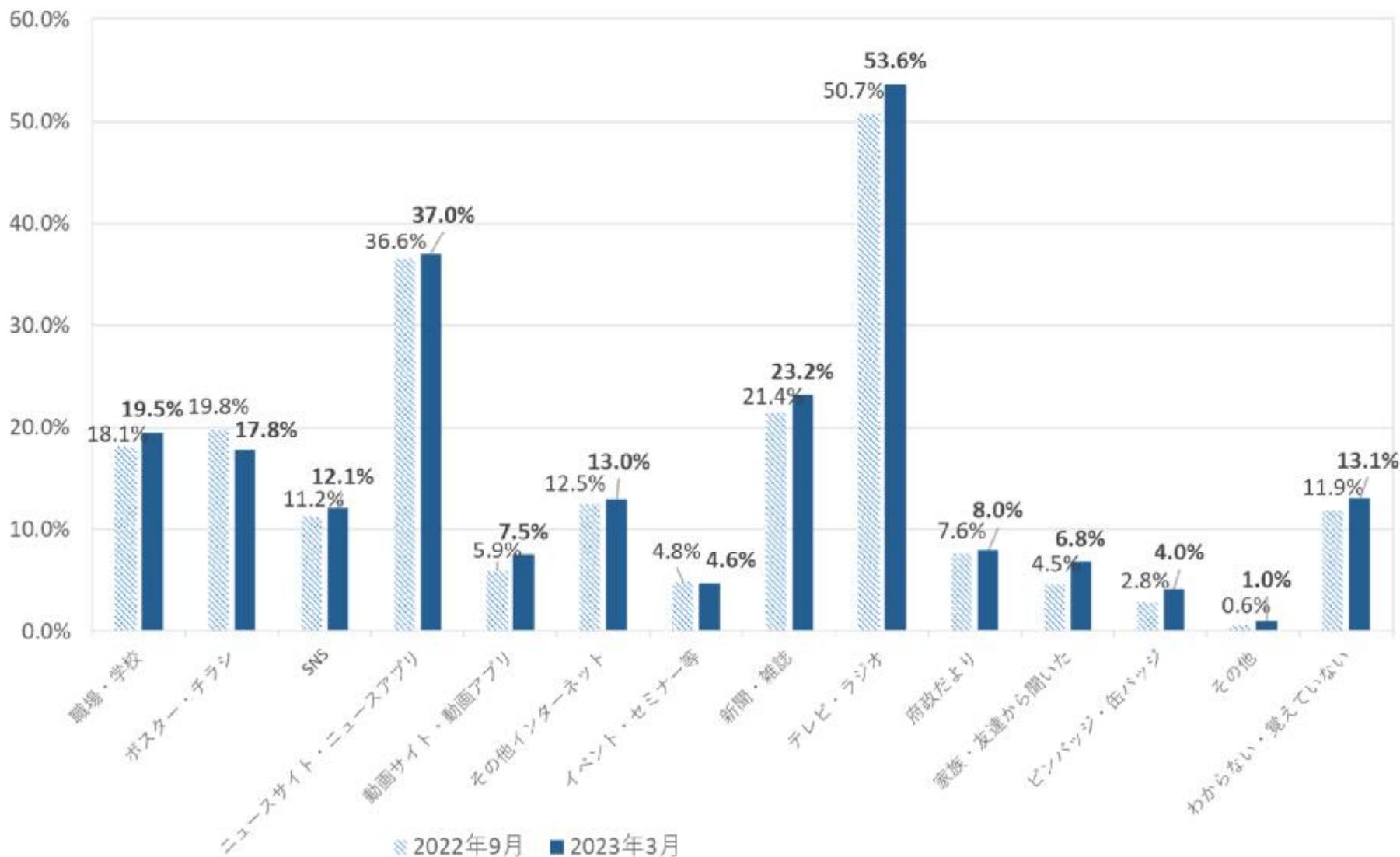
■ SDGsを知っている

■ SDGsという言葉聞いたことがある。ロゴを見たことがある

○SDGsに関心が高まる機会は、「気軽にSDGsを学べるイベント」、「無料で参加できるセミナー」、「行政等が主催するまちのゴミ拾い活動など、実際に体験できる機会」の割合が高い。

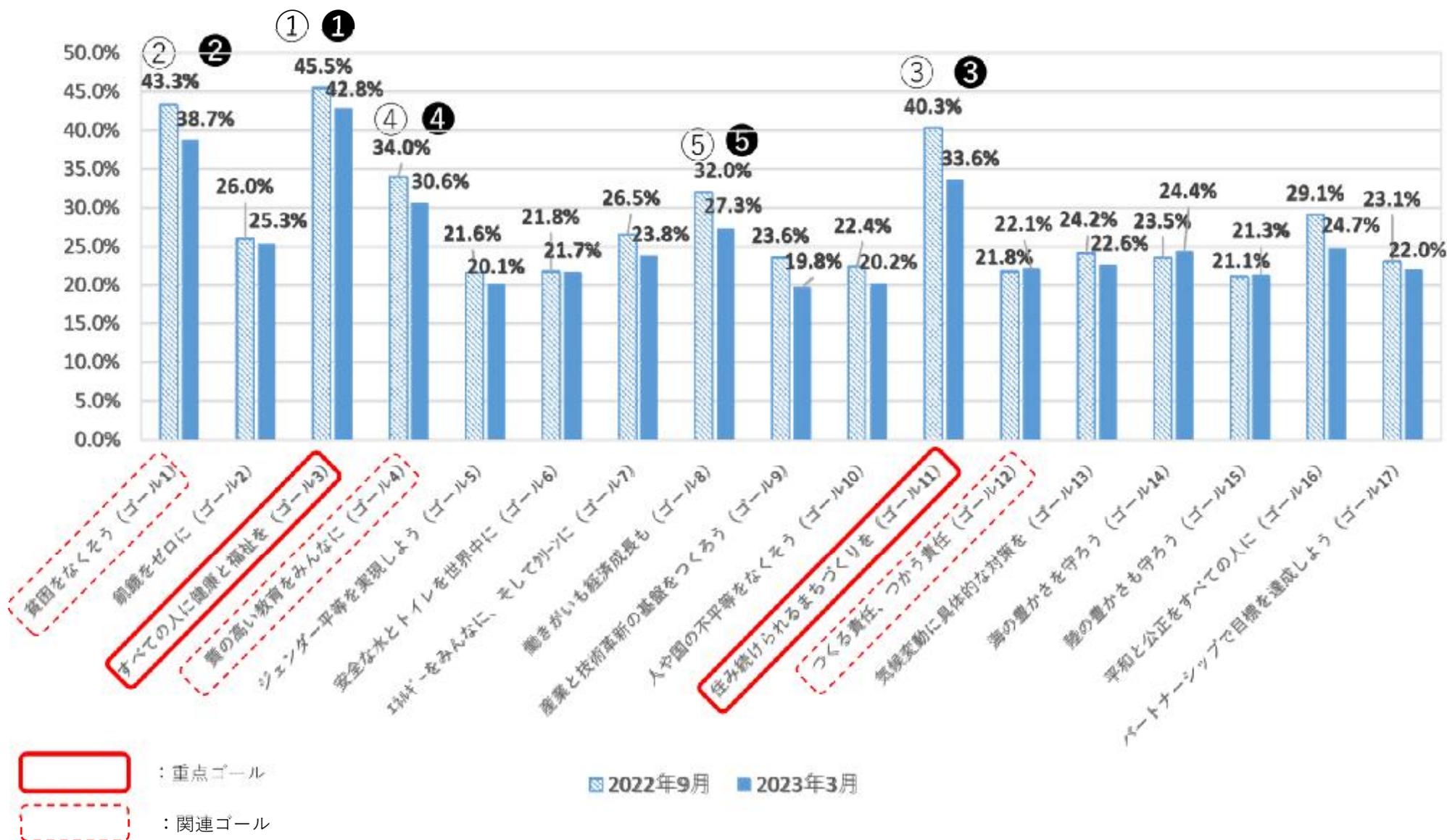


○SDGsを知るきっかけは、「テレビ・ラジオ」が最も高く、次いで「ニュースサイト・ニュースアプリ」が高い。



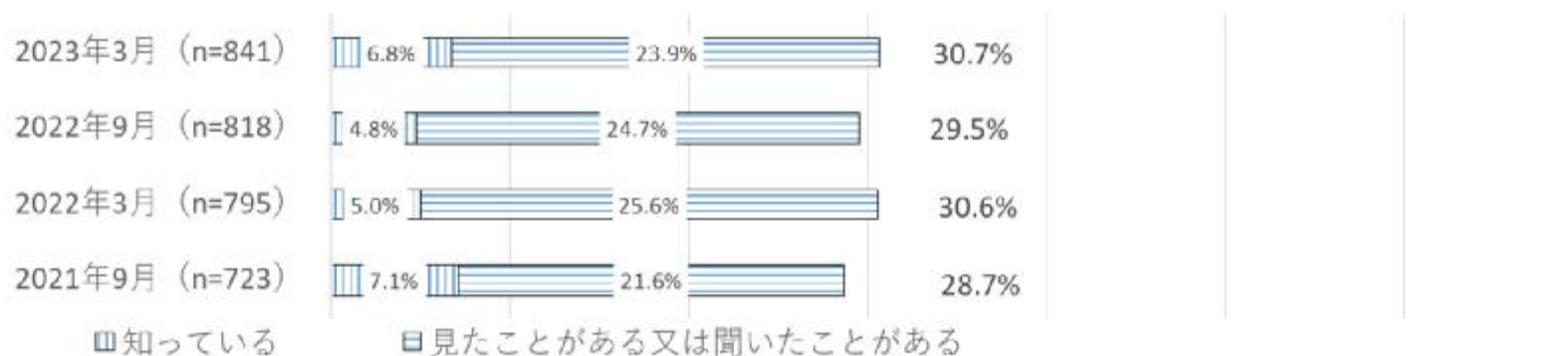
大阪で重要と思うゴール（複数選択可）

○重要だと思う高いゴールの順位は、大阪SDGsビジョンに掲げる重点ゴール3・ゴール11、および関連ゴールのうちゴール1・ゴール4への関心は高い傾向にある。

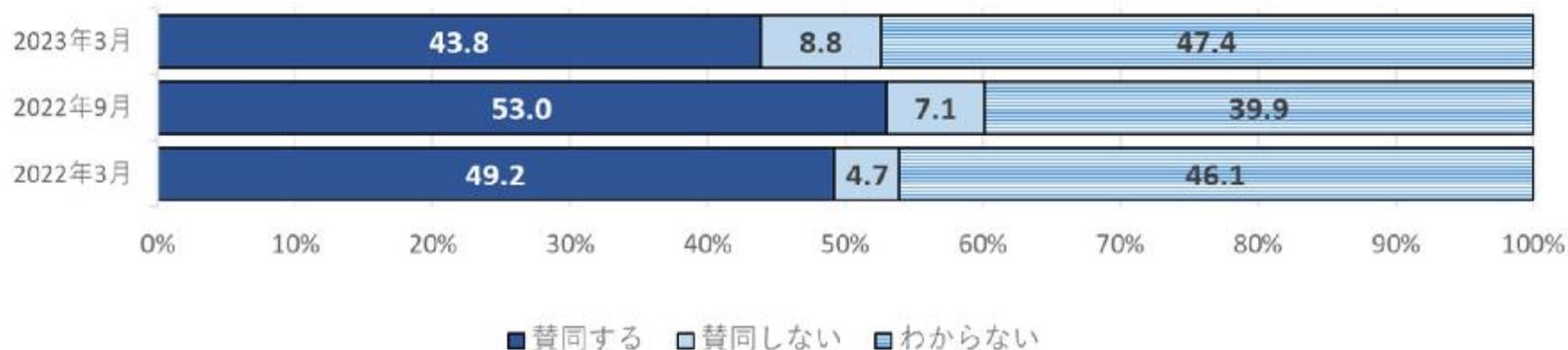


- 大阪SDGs行動憲章の認知度は、**30.7%**。
- 大阪SDGs行動憲章の趣旨への賛同率は、**43.8%**。

■大阪SDGs行動憲章の認知度

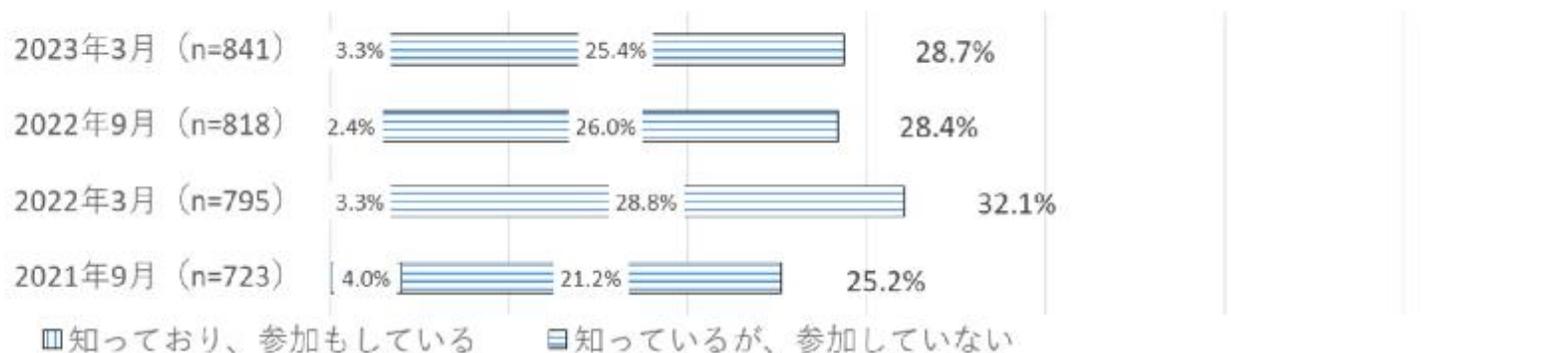


■大阪SDGs行動憲章の趣旨への賛同率

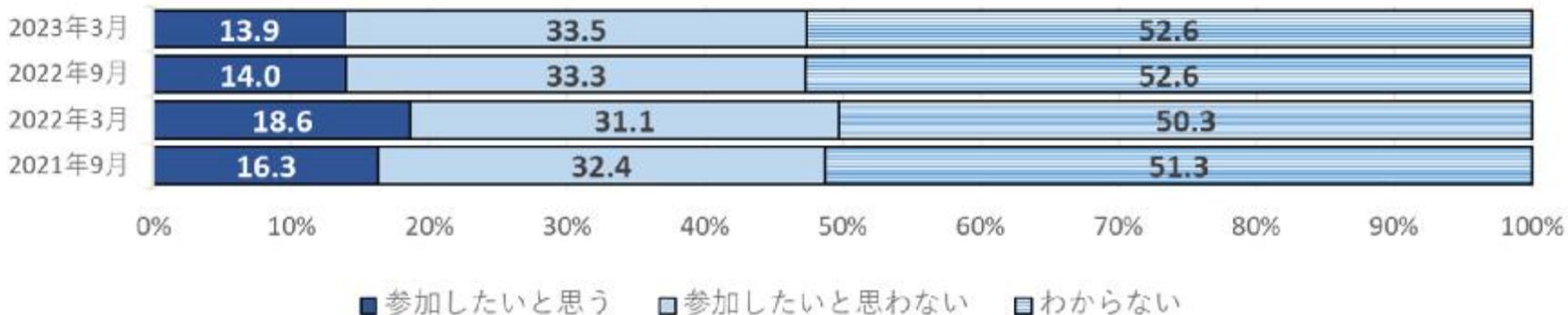


- 私のSDGs宣言プロジェクトの認知度は、**28.7%**。
- 私のSDGs宣言プロジェクトに参加したいと思う方は、**13.9%**。

■私のSDGs宣言プロジェクトの認知度



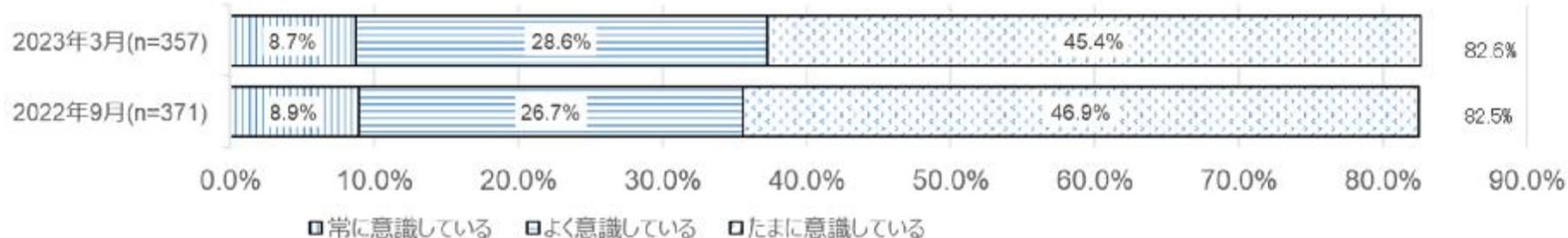
■私のSDGs宣言プロジェクトへの参加意思



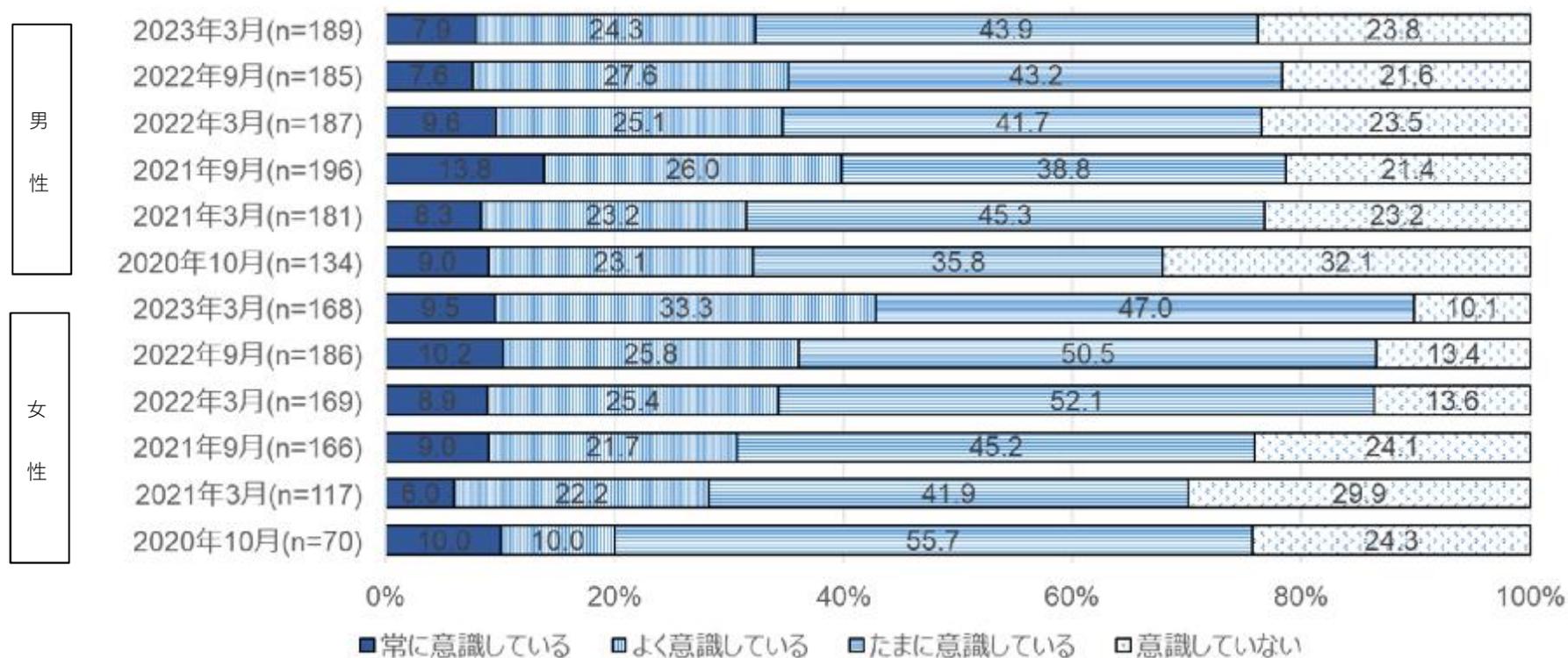
○SDGsを知っている方のうち、「常に意識している」、「よく意識している」、「たまに意識している」の合計は、**82.6%**。

○男女別では、女性の意識度が高い傾向にある。

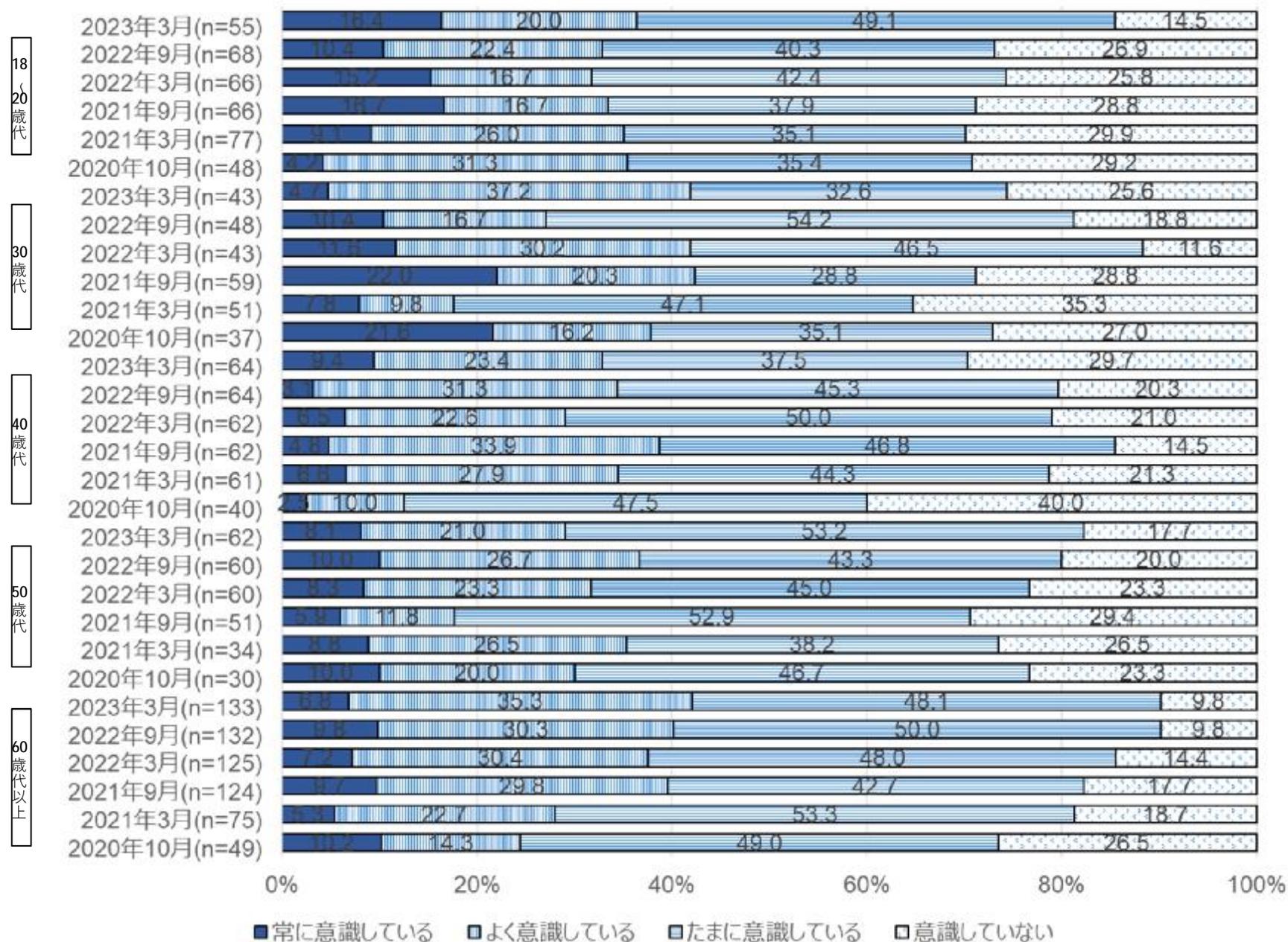
■SDGs意識度（全体）



■SDGs意識度（性別）



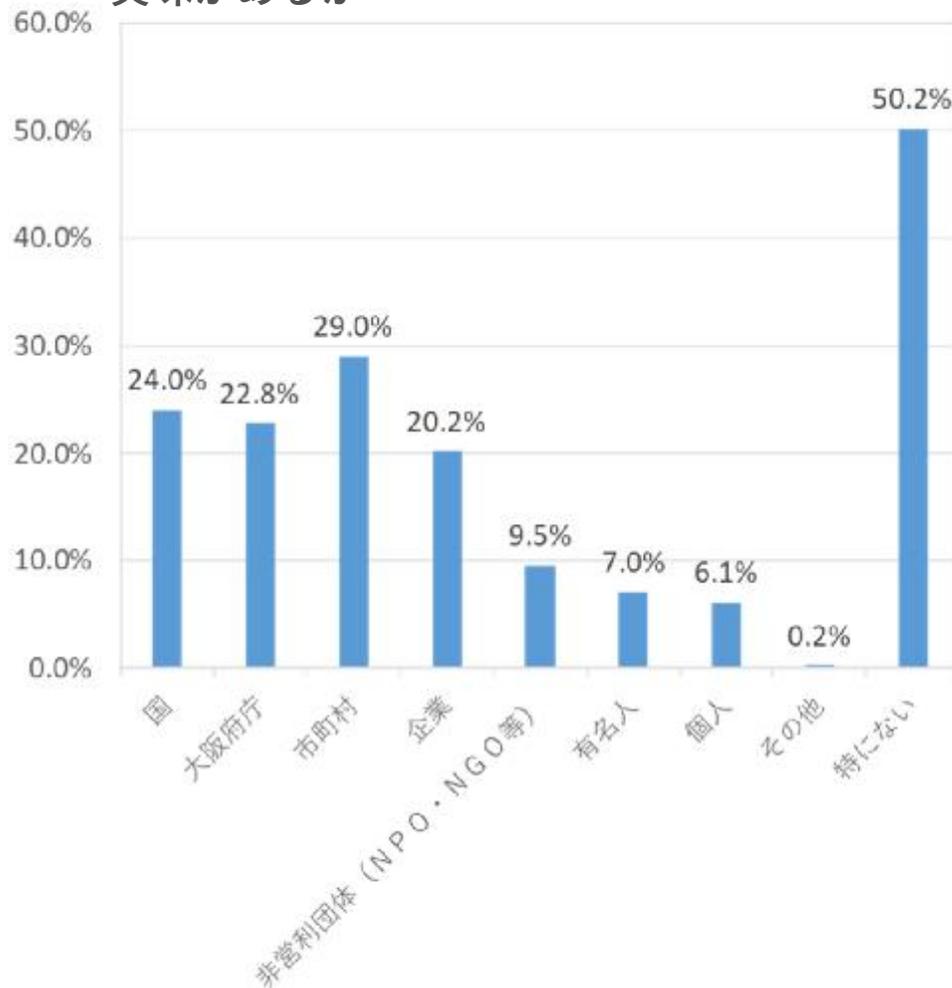
○年齢別では、**30歳代**及び**40歳代**の意識が低下傾向。



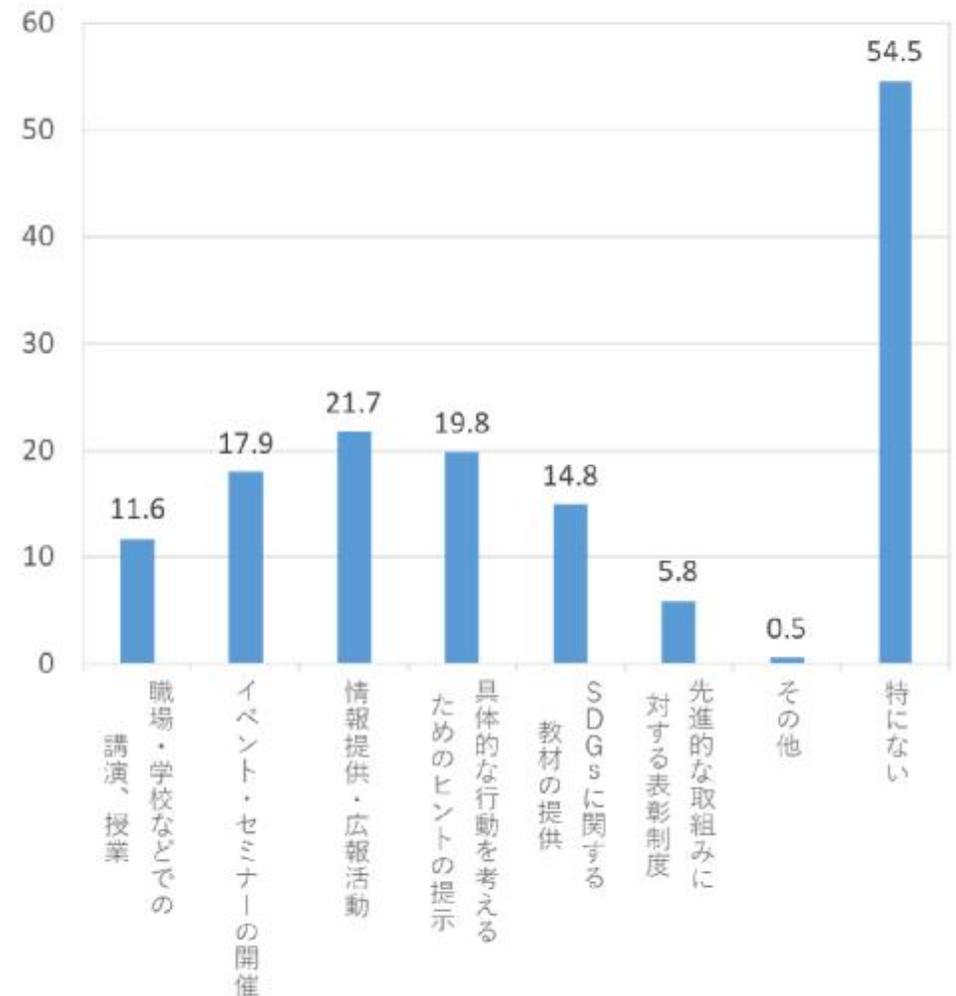
○ どのような団体等が行う取組みについて興味があるかについては、「国」、「大阪府庁」、「市町村」、「企業」の割合が高い。

○ **SDGs**を広めるため大阪府に期待する取組みは、「情報提供・広報活動」、「具体的な行動を考えるためのヒントの提示」、「イベント・セミナーの開催」の割合が高い。

■ どのような団体等が行う取組みについて興味があるか



■ 大阪府に期待する取組み



- ・子ども達や介護施設でボランティアをする。
- ・ごみの分別、乗り物をつかわずできるだけ歩く。
- ・エコバッグ持ち歩く。
- ・出来るだけ近場で採れた野菜を買う。（地産地消）
- ・食べ物は残さず食べることを心がける。
- ・子供や医療を支援する団体へ寄付をする。
- ・電気をこまめに消す。リユースを心がける。
- ・車や電車を利用しないで、自転車や徒歩で移動する。
- ・スーパーで買うとき手前取りをする。
- ・節水、節電を心がける。
- ・身の回りのルールを守る。
- ・地域のゴミ拾いに参加する。
- ・ものを大事にする。
- ・公共交通機関を利用したり、徒歩・自転車で移動する。
- ・水・電気の使用量を減らす。
- ・誰に対しても平等に接する。
- ・マイ箸・マイカップを持ち歩く。
- ・栄養バランスの良い食事と運動による健康づくりを心掛ける。
- ・週に1回、公園のごみ拾いに参加する。
- ・なるべく無駄な買いものを避ける。
- ・紙の無駄遣いを減らす。
- ・食べ物を残さないように、買いものに行く前に冷蔵庫を確認する。
- ・不要な照明は切るようにしていること。
- ・リサイクル、リデュースを心掛ける。
- ・人権についても勉強する。
- ・フェアトレードの商品を購入する。
- ・過剰な包装を控える

等